

令和4年度事業報告書

1 概 要

令和4年度の国内経済は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつある中、緩やかな持ち直しが続いてきたが、ウクライナ侵攻の長期化等に伴う世界的なエネルギー・食料価格の高騰や欧米各国の金融引締め等による世界的な景気後退の懸念など、我が国の経済を取り巻く環境は厳しい状況にある。

さらに、雇用情勢については、景気の持ち直し傾向を受けて、求人の増加はみられるものの、コロナ禍以後の経済は不透明なものがあり、シニア世代に限らず被雇用者全般に対する企業の対応も厳しく変化しており、さらには、テレワークの推進や副業の許可など新たな働き方を取り入れる動きが広がりつつあり、シルバー人材センターとしても今後の動向を注視していく必要がある。

こうした中、当シルバー人材センターとしては、企業訪問や事業所への個別通知、介護分野就業機会促進事業等による就業機会の拡大や未就業対策、安全就業の推進に努め、さらには、継続事業である児童クラブ指導員派遣事業や福祉・家事援助サービス事業、空き家等管理代行サービス事業、介護予防・日常生活支援総合事業、産前産後ヘルパー派遣事業等を推進してきたところである。

また、会員の拡大、特に女性会員の拡大を図るため、女性限定入会説明会を定期的で開催するとともに、毎月2回の入会説明会のほかに臨時の入会説明会や各種講習会や講座を実施し会員の入会に努め、さらには、高齢者が多く集まる場所でのパンフレット等の配布、タウン誌、広報等の機関紙、新聞折込み等の広報活動、清掃ボランティア等の社会献活動を通じた啓発活動を積極的に進めてきたところである。

センターの事業実績としては、継続して実施してきた企業訪問や事業所への個別通知などの効果等により、前年度と比較すると受注件数は若干減少したが、契約金額は4.2%の増加となった。

また、積極的な啓発活動等により会員数は前年度と比べて44人増加しており、特に女性会員は前年度と比べ32人、12.4%の増加となっている。

今後とも会員拡大に積極的に取り組むとともに、新規分野の就業開拓や新規事業の取り組みに努め、市民から信頼され地域に貢献できるセンターを目指し、会員はじめ、役職員が一丸となって努力していく所存である。

以下、事業実績は次のとおりである。

区 分	令和3年度(A)	令和4年度(B)	(B)－(A)	前年度比(%)
正会員数(人)	726	770	44	106.1
受注件数(件)	3,273	3,239	△34	99.0
契約金額(円)	330,555,739	344,565,560	14,009,821	104.2
就業率(%)	79.9	80.6	0.7	100.9

※派遣事業(県連合会実施)分含む

2 事業実施状況

(1) 高齢者に対する雇用によらない就業機会の確保及び提供事業

ア 地域社会に密着しながら、会員の希望、知識及び経験に応じた就業等の活動機会を確保提供

- ・子育て支援事業として、産前産後ヘルパー派遣事業を実施し、受注件数17件減少の100件、契約額290,000円減少の1,232,000円であった。
- ・放課後児童クラブ派遣事業として、4クラブに16名派遣し、前年度より契約金額406,705円増加の3,418,008円であった。
- ・福祉・家事援助サービス事業として、前年度より受注件数1件減少の135件、契約金額239,310円減少の1,254,318円であった。
- ・介護予防・日常生活総合事業として、訪問型サービスA（緩和した基準によるサービス）を実施し、前年度より受注件数1件増加の32件、契約金額3,000円増加の78,000円であった。
- ・地域就業機会創出・拡大事業として、「空き家等管理代行サービス事業」を実施し、前年度より受注件数2件増加の251件、契約金額707,998円減少の4,037,996円であった。
- ・高齢者にふさわしい地域社会に密着した仕事を、西条市をはじめとする官公庁、一般家庭、企業等から有償で引き受け、会員の希望、知識及び経験に応じて請負又は委任による提供を行った。

イ 会員の拡充

- ・会員の拡充に関する報奨制度の活用による入会者は、19名であった。
- ・入会説明会を月に2回開催するとともに、各種講習会終了後や入会促進月に臨時入会説明会を開催した。
- ・女性限定入会説明会を定期的に開催、30名の参加があり、18名が正会員として入会、女性会員の増強を図った。
- ・逐次、未就業者へのアプローチを図るとともに、就業機会の提供を行い退会会員の防止に努めた。
- ・地域の一般高齢者を含めて、剪定、草刈体験会、放課後児童支援員養成講座を開催し、20名（一般5名、会員15名）の参加があった。各講座等に併せて入会説明会を行い、全員が正会員として入会した。

ウ 事務局体制の充実

- ・職員の資質向上に努め効果的な予算執行を図った。
また、月に1回事務局内において会員及び就業機会拡大会議を行い会員の入会促進や退会防止並びに新規分野の開拓や新規事業への取組みについて検討を行った。

(2) 雇用による就業を希望する高齢者に対する職業紹介事業及び労働者派遣事業

ア 職業紹介事業

- ・職業紹介事業は、センター事業に馴染まない臨時的、短期的な雇用

に結び付く高齢者への職業紹介事業で、本年度において実績はなかった。

イ 労働者派遣事業

- ・労働者派遣事業は、愛媛県シルバー人材センター連合会西条実施事務所として、前年度より派遣就業会員35名増加の337名、受注件数14件増加の113件、契約額 20,458,412 円増加の 166,247,822 円であった。

(3) 高齢者に対し、就業に必要な知識及び技能を付与する講習事業

ア 愛媛県シルバー人材センター連合会と連携した事業

高齢者活躍人材育成事業として、地域の一般高齢者を含めて次の講習会を開催した。

- ・シニアライフセミナー「スマホ講習」を開催し、9名（一般9名）の参加があった。
- ・「剪定基礎講習会」を3日間にわたり開催し、7名（一般7名）の参加があった。

なお、講習会閉会時に併せて入会説明会を行い、4名が正会員として入会した。

- ・「児童クラブ補助員養成講習会」を開催し、8名（一般6名、会員2名）の参加があった。

なお、講習会閉会時に併せて入会説明会を行い、5名が正会員として入会した。

イ 愛媛県生涯現役促進地域連携事業推進協議会と連携した事業

生涯現役促進地域連携事業として、地域の一般高齢者を含めて次の講習会を開催した。

- ・「空き家管理知識習得講座」を開催し、28名（一般5名、会員23名）の参加があった。

ウ 剪定や草刈作業の技能向上と、新たな班員の増強を目的として、班長が講師となり講習会や体験会を開催し、14名（一般3名、会員11名）の参加があった。

なお、講習会時に併せて入会説明会を行い、全員が正会員として入会した。

エ 放課後児童クラブ等子育て支援及び家事援助サービスの就業機会の拡大を図る目的として、放課後児童支援員養成講習会を開催し、6名（一般2名、会員4名）の参加があった。

なお、講習会時に併せて入会説明会を行い、全員が正会員として入会した。

(4) 高齢者の生きがいの充実及び社会参加の推進を図る事業

ア 社会参加活動

- ・地域社会に貢献するシルバーをめざし、清掃活動を中心としたボランティア活動を実施した。(ウォーキングロード清掃35名、西条高校堀端周辺清掃44名、アウトドアオアシス館周辺清掃18名、丹原中央公園30名)
- ・事務所スペースを利用し、会員の趣味を活かした作品を展示するとともに、地域の高齢者と定期的に手芸や料理作りをして交流を図った。

イ 相談・情報提供事業

- ・理事参加のもとで就業相談会を毎月開催し、会員及び地域における働く意欲のある高齢者のために就業相談、就業情報提供、講習会等案内を行い、累計19名(一般11名、会員8名)の参加があった。
なお、一般参加者の内6名が正会員として入会した。
- ・ホームページ、会報、会員ひろばの掲示板を活用し就業に必要な情報提供を行った。

ウ 接遇マナー

- ・発注者に対するマナーを重視し、会員各自が誠実な就業を行うよう入会説明会及び臨時入会説明会に併せ、挨拶や声掛け等接遇マナーについての意識啓発を図った。

エ シルバー講座

高齢者の健康の維持・促進を支援し、生きがいの充実と活力ある地域社会づくりを図る目的で次の講座を開催した。

- ・リズム体操を開催し、20名(一般13名、会員7名)の参加があった。
- ・笑いヨガを開催し、13名(一般11名、会員2名)の参加があった。
- ・多肉植物の寄せ植え講座を開催し、20名(一般)の参加があった。
- ・見返美人体操を開催し、12名(一般10名、会員2名)の参加があった。

(5) 高齢者の多様な就業機会の確保及び地域社会、企業等における高齢者の能力の活用を図るための事業

ア 就業開拓等事業

- ・就業機会開拓推進員を配置し、地域事業所、地方公共団体等を訪問面談し、高齢者にふさわしい仕事の開拓に努めた。(事業所訪問235件)
- ・事業所等に仕事の受注についてのパンフレットを送付した。(事業所通知205件)
- ・空き家等管理代行サービスのパンフレットを市内外に配布し、空き家管理及び墓地清掃業務の推進に努めた。
- ・職群班による就業機会の開拓を行った。

イ 調査研究事業

- ・新規発注者と一般家庭を併せた300件の受注に対しアンケート調査を実施し、事業運営の検討課題を見出し、対応策の検討を行った。
- ・外部講師による研修を実施し、センターが更なる組織力を高めるためにこれから取り組む課題について研修を受けた。

ウ 安全・適正就業推進事業

- ・安全就業の推進については、危険性が高いと見込まれる案件は受注せず、安全パトロールを毎月1回と就業時の安全指導を実施するとともに、配分金支払通知書及び派遣会員への給与明細書の送付に併せ、事故状況や安全に関する資料及び健康診断の受診奨励等を同封し、会員への意識啓発を図った。
- ・前年度において保険適用事故を起こした会員の安全講習会を開催し、安全に対する意識の高揚を図った。
- ・本年度のシルバー保険適用事故発生状況については、傷害事故0件、賠償事故3件で前年度と比較して、傷害事故は2件減少し、賠償事故は3件増加している。
- ・適正就業の推進については、厚生労働省 全国シルバー人材センター事業協会において作成された「シルバー人材センター適正就業ガイドライン」に基づき新入会員には入会説明時に、新規発注者は訪問、郵送等のあらゆる機会を活用し周知徹底に努めた。
- ・長期就業や月間就業時間の是正を行い公平な仕事の提供に努めた。
- ・既存の受注について、請負・委任として適当かどうか更なる検討を行い、適当でないと判断した受注については、労働者派遣事業へ切替等を行った。

エ 適正就業の推進

- ・ワークシェアリング及びローテーション就業の推進により、同一場所での長期就業の適正化に努めた。
- ・未就業者に対し、就業体験として公園での草引きの就労提供を行った。

オ 普及啓発事業

- ・センター事業の内容を広くPRするため、新聞折込やタウン誌で会員募集や事業所等へ仕事の依頼のパンフレットを送付した。
- ・高齢者等が集まるスーパー等で、啓発用のポケットティッシュや入会説明会等のチラシを配布した。
- ・会員及び関係機関へ「シルバー西条」を年2回発行し、配布した。
- ・ホームページに就業情報の記事を定期的に更新し、情報提供及び事業内容等の周知を図った。
- ・市の広報、商工会議所会報、公民館だよりへ会員募集の掲載を行うとともにポスターの掲示及びチラシの配布を行った。
- ・ハローワークに定期的に入会説明会や就業相談会の案内チラシを設置し、シルバーの周知を図った。
- ・ボランティア活動の際に報道依頼を行った。
- ・寺院に、墓清掃サービスのパンフレットを送付し、周知依頼を行った。